

第1回江別市食育推進計画策定委員会 会議録（要点筆記）

日 時：令和5年8月25日（金）午後3時00分～午後4時00分

場 所：市民会館31号室

出席委員：小林委員長、星野副委員長、八巻委員、野内委員、
佐藤（盛）委員、今林委員、布施委員、中村委員（計8名）

欠席委員：尾澤委員、佐藤（倫）委員、齋藤委員（計3名）

事務局：福島経済部長、渡部経済部次長、佐野農業振興課長、川合農政係長、
栗生主任、竹内主事（計6名）

1 開 会

2 委嘱状交付

（委嘱状交付）

3 部長挨拶

【福島経済部長】

平成17年に国が定めた食育基本法に基づき、市町村においても努力義務の形で食育推進計画を作成することとなった。

江別市では、平成23年に第1次食育推進計画を策定し、現計画は第3次計画となる。この間にも市としては食育の大切さを市民に理解してもらうため、様々な取り組みを行ってきたところだが、現計画が今年度で終了することから、今後も引き続き食育の取り組みを推進していくため、今回第4次江別市食育推進計画を作成することとした。

新しい計画の策定にあたっては、今後、開催されます策定委員会の場において、忌憚のないご意見を頂戴したいと考えており、活発なご議論をお願い申し上げ、開会にあたっての挨拶としたい。

4 自己紹介

（委員自己紹介）

（事務局自己紹介）

5 委員長及び副委員長選出

（委員から事務局案の提示を求められ、事務局案として委員長に小林委員、副委員長に星野委員を推薦し、選出される）

（委員長及び副委員長挨拶）

6 第4次江別市食育推進計画策定方針

【小林委員長】

次第の5「第4次江別市食育推進計画策定方針」について、事務局より説明願う。

【事務局】

第4次江別市食育推進計画の策定方針について、策定根拠、策定方針、計画期間、検討体制は資料1のとおり。なお、現計画13ページに現計画の基本理念と目標が記載されているが、次期計画においても変更予定はない。

食育推進の体制についても現計画同様、各関係機関と連携を図りながら、分野別、

ライフステージ別の推進体制を継続していく予定である。

次に、次期計画の取り組み予定について説明する。

国の最新計画である「第4次食育推進基本計画」の概要が資料2である。

国は、SDGsを勘案しつつ、2ページ記載の2つの連携する重点事項と1つの横断的な重点事項を定めている。

また、4ページが国の現行の第4次計画となっており、黄色箇所が追加・見直しとなった項目である。

追加・見直しの項目を、市の計画にすべて反映することは難しいが、例えば新規追加された項目のうち、12「環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす」という項目については、13「食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす」という項目と合わせるような形で、現計画の14ページに記載の4つの分野に、新たに環境分野を追加して、食品ロス等、廃棄物対策課所管の取組について、新規追加する方向で案の調整を行っているところである。

これに伴い、現計画16ページから23ページの取組の方向性についても、既存の取組を見直すほか、環境分野について追加予定である。

現計画24ページの成果指標について、継続的に追跡するという観点から指標はあまり変えない予定だが、国の計画の見直しに伴い、適宜見直しが必要となる部分もあると考える。

【小林委員長】

何か質問はないか。

【小林委員長】

現計画24ページの成果指標について、次期計画と成果指標が異なる場合もあると思うが、指標の考え方について分かる資料はあるか。

【事務局】

国や道の推進計画にも指標があるほか、市の事務事業評価で把握している数値も考慮しながら、成果指標を設定している。

【布施委員】

確認だが、現計画をもとに、今後は次期計画の内容を当委員会で確認しながら適宜内容追加等を行い策定していく、という認識で間違いないか。

【事務局】

そのとおりである。現在は庁内連絡協議会を設置し、関係部署と連携を取りながら内容を精査し、次期計画の素案を作成しているところであり、今後は素案について策定委員会のなかで議論してもらおう流れとなる。

【事務局】

補足として、計画策定のため江別市食育推進計画庁内連絡会議を設置しているところであるが、参集いただいた委員の皆様も、それぞれの立場から計画に関する考えや取り組みがあるかと思う。計画の策定にあたっては、庁内はもとより、関係機関から食に関する取り組みについて様々な意見を取り入れていきたいと考えている。

【小林委員長】

成果指標についてだが、現計画と同じ指標にする必要はないと考えている。また、この指標でいいのかという疑問はある。この指標が江別市の調査に基づくものならどの調査から引用されているのか明記してほしい。また、意見として、今後の調査で継続的に数値が出せるものがあるなら、新たな指標を定めてもいいと考える。

【事務局】

現計画の指標の根拠については次回の委員会までに参考資料として用意したい。

【中村委員】

例えば、関係部署にこうした取り組みをしてほしい、といった要望がある場合、どのように提案すればいいか。

【事務局】

要望が必ずしも実現するかどうかはわからないが、委員会開催前なら事務局へ連絡してもらえれば関係部署に確認できるし、当委員会の中でこのような取り組みはどうか、という発言をしてもらっても問題ない。

7 今後のスケジュール

【小林委員長】

議事の（3）「今後のスケジュール」について、事務局より説明願う。

【事務局】

本日の策定委員会でのご意見等をもとに素案を調整し、庁内連絡会議において素案を協議する。

その後、9月に第2回、10月に第3回の策定委員会を開催し、素案内容についてご議論をお願いする。

11月には、経済建設常任委員会に策定状況及びパブリックコメントの実施報告を行い、12月にパブリックコメントを実施、市民から出された意見をもとに、計画案の最終調整を行う。

令和6年1月に、最終となる第4回の策定委員会を実施し、計画本文を確定したのち、2月の市長決裁及び議会報告をもって確定という流れとなる。

計画の公表等は3月に行い、食育推進協議会の総会において報告し、令和6年4月から、第4次計画の運用を開始する。

【小林委員長】

何か質問はないか。（なし）

8 閉会

【小林委員長】

これで第1回江別市食育推進計画策定委員会を終了する。

以上